

温暖化防止は 楽しく お得に 健康に

我慢しない快適で豊かなゼロカーボン社会へ



チーム「とっとりゼロ・カーボン・チャレンジ」が、専門家や先進事例に学びながら作成した2050年の鳥取のイメージイラスト(絵・久和温実)



今の暮らしを続けると、2100年には世界の平均気温が5度近くも上昇すると予測されています。産業革命以降、化石燃料を燃やすことでたくさん二酸化炭素(CO₂)が発生し、大気中の濃度が上昇。地球の温暖化が進んできたのです。

再エネ100宣言 RE Action

参加企業募集中!

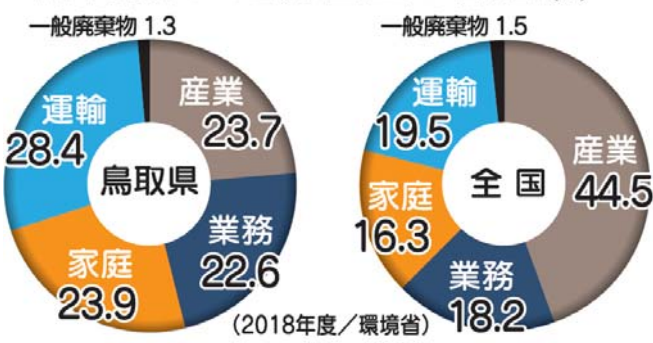
使用する電力を100%再生可能エネルギー(再エネ)由来に転換することを表明し行動する「再エネ100宣言 RE Action(アールイー アクション)」への参加企業を募集中。ゼロカーボン社会を目指して、再エネの利用拡大を図る。参加企業は企業価値の向上や新たなビジネスチャンスの獲得が期待される。

《鳥取県内参加企業》

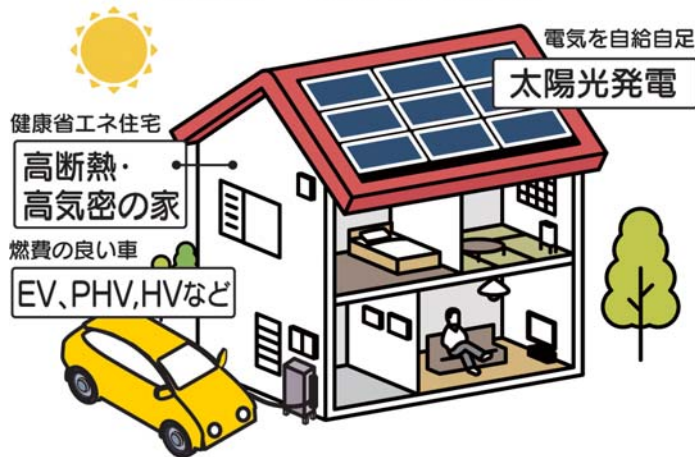
- 日本インテライツ
- エナテクス
- 大協組
- ホームズ
- 三光ホールディングス
- 岡本緑化
- 足立本店
- 倉繁歯科技工所
- 温泉旅館 丸茂
- 養和会グループ

詳しくは RE Action 鳥取 [検索](#)

部門別CO₂排出量の割合 (%)



ゼロカーボン住宅の形



家庭での取り組み重要

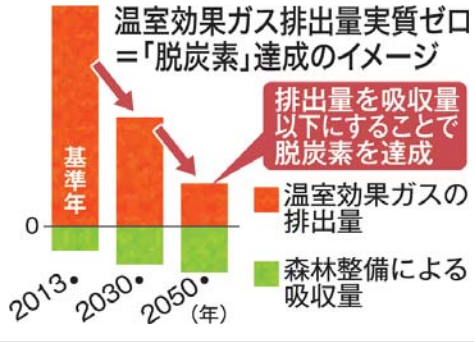
上手に無駄のない生活を

地球温暖化を食い止めるためには、原因となるCO₂などの温室効果ガスの排出量を削減することが必要です。30年後の2050年までにCO₂を出さない暮らしをどう実現するのか。鳥取県の温室効果ガスの排出量は、全国と比べて家庭と運輸(内訳の多くが自家用車)の割合が高くなっています。つまり家庭での取り組みがより重要となっています。そのためのポイントが二つあります。電気などのエネルギーを上手に使い、無駄が少ない生活をする。CO₂を出さない自然エネルギーを取り入れることです。

例えば、家の断熱性能を高めて冷房をあまり使わなくて済む住まいづくり。LED照明や省エネ家電で節電効果をアップ。太陽光発電システムや太陽熱温水器などの自然エネルギーの活用です。

さらに、蓄電池としての側面を持つ電気自動車を導入すれば、太陽光発電で発電した電気を電気自動車にためて、夜間や災害時でも電気を使うことができます。このような生活は少しずつ実現しています。

ゼロカーボンを実現するには、暮らしの工夫や便利な技術を使うことで楽しくお得に健康に取り組むことが重要です。県担当者やエコは我慢ではなく、快適さと両立できます。買った時の費用はかかりますが、維持費を含めるとお得になるほか、サブスクリプション(月額定額制)など、買わずに借りるさまざまな選択肢がゼロカーボン達成の一つの鍵になると話しています。



豪華商品が当たる!! とっとりゼロカーボンキャンペーン

キャンペーン期間 2022年2月20日まで

参加無料

脱炭素(ゼロカーボン)社会を目指して、エコ活動に取り組もう!

楽しく・お得に・お手軽に 家庭でチャレンジ!

キャンペーン特設サイト



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



鳥取銀行SDGs宣言

鳥取銀行は、経営の基本理念である「地域社会への貢献と健全経営」にもとづき、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、地域社会の持続的な発展と課題解決に貢献してまいります。

地域社会の持続的発展
金融仲介機能を発揮するとともに、お客さまや地域の課題解決に向けた取り組みを通じて、地域の持続的な発展に貢献します。

環境への配慮
地域社会の環境負荷低減や環境保全活動に取組むとともに、お客さまの環境に配慮した取り組みを支援します。

多様な人材の活躍推進
すべての従業員が個性や能力を十分に発揮し、働きがいを感じ、活躍できる職場づくりに取組みます。

